

昨年8月に開催された、スポーツ吹矢※ジュニアの全国大会「第10回スポーツ吹矢ジュニア競技会」(日本スポーツ吹矢協会主催)の、7歳の部で優勝した山本穂乃佳さん(河南中2年)を紹介します。

※5~10歳離れた円形的的めがけて矢を放ち、その得点を競うスポーツ。ジュニアは4~8歳まで1分刻みで設定された5部門で競う



生涯続けたいスポーツに出会う——

山本穂乃佳さん

スポーツ吹矢を始めたのは小学6年生の時。趣味で吹矢をしていた祖母に勧められたことがきっかけでした。今まで経験がない遊びですぐに夢中になりました。

吹矢を始めて、まだ1年たない頃に、祖母にスポーツ吹矢の大会があることを知らされ出場しました。日頃の練習の他に、自宅での自主練習では基本動作である呼吸と筒を上下に動かすタイミングの整え方や矢が飛びイメージをする練習に打ち込みました。

大会当日は、全国大会を経験している選手が多く、体の底から感じる緊張もありましたが、得意としている矢のコントロールの正確性を発揮でき、優勝することができました。東京まで応援に駆けつけてくれた両親と祖母、吹矢の青木先生の前で勝てたことが本当に嬉しかったです!

競技を通じて「一緒にがんばろう」と励ましあえる友達が全国に

できました。その友達と一緒に大会で競い合い、その中でまた優勝することが1つの目標です。

吹矢は、道具さえあれば誰でも気軽に始められて、ゲーム感覚で楽しみながら健康になれるスポーツ。競技をする人がたくさん増えてほしいです。将来の夢は美容師になることですが、競技は生涯続けて一般の大会にも出場し、優勝したいです。



マスコットキャラクターのフキヤットとの記念撮影

## 写真deもりおか

市内で開催されたイベントや出来事を紹介します。紙面で紹介しきれなかった写真は、市公式ホームページの取材日記に掲載しています。



取材日記

### 4/13 啄木のふるさと「渋民」をPR



IGRいわて銀河鉄道の渋民駅(下田字陣場)の副駅名が「啄木のふるさと」に決定し、同駅前広場で記念セレモニーが開かれました。これは、石川啄木を縁とした東京都文京区との友好都市提携を記念し、導入したものです。駅舎には、書簡から集めた啄木の自筆文字による副駅名が表示されたほか、列車内のアナウンスでPR。啄木ゆかりの地の玄関口として、さらなる盛り上がり期待されます。

### 4/27~6/2 芸術を生む、芸術に親しむ



日頃の芸術文化活動の成果を展示・発表し、広く鑑賞してもらう市民参加型の「第48回盛岡芸術祭」を、市民文化ホール(盛岡駅西通二)などで開催。4月28日の開会式では、同ホールのパイオルガンの演奏にあわせ、合唱が披露されたほか、書道や日本画など美術展各部門ごとに市長賞などが授与されました。開催期間中は、多くの人が、作品や舞台を鑑賞し、芸術に親しみました。

### 4/22 ラグビーによる新しい架け橋



ラグビーカナダと2020年東京五輪の事前キャンプに関する覚書を、いわぎんスタジアム(永井8)で締結しました。事前キャンプの決定は、水球カナダに続き2競技目。ラグビーカナダ女子セブズマネージャーのニコール・クラウリーさんは、「ビクトリア市と盛岡市の長年に渡る交流がキャンプ地決定の大きなきっかけになった。一緒にラグビーの普及に努めたい」と笑顔で語りました。

### 5/12 新緑の公園をペットと満喫



たくさんの方が集まり、楽しめる公園づくりを目指し、「にゃんと!?ワンだふる会」(もりおか公園活性化交流広場高松チーム主催)が、こがねパーク高松(旧盛岡競馬場跡地、上田字堤頭)で開かれました。犬のしつけ教室や愛犬ファッションショーなどのイベントに約1500人が来場。青空のもとで、飼い犬と一緒に芝生を駆け回る子どもたちや、飼い主同士が交流する姿があちらこちらで見られました。

もりけんに挑戦(15ページに掲載)の答え  
③音風景

広報もりおかへのご意見をお待ちしています  
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



#### 編集後記

表紙の撮影にご協力いただいた素敵なお家族。女の子二人の花柄のかわいいベアルックと満面の笑みに、撮影の最初から最後まで癒されました(阿部)



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。